

成長感じた修了式

幼年消防クラブ修了式

町立第2保育所(宮川ひさ代所長)で2月5日、幼年消防クラブ修了式が行われました。

式では、火の便利さ、怖さを一年間の同クラブ活動で学んだ子どもたちが入場。出席した15人全員は高遊原南消防本部の住川豊消防長から、修了証書を受け取りました。

消防長や来賓のあいさつの後、隊長の福本嘉胤君の号令で、クラブ活動の一環として訓練し

てきた「防火の誓い」を全員で力強く述べました。

後ろの席では、幼年消防クラブを修了し、成長した子どもたちを一目見ようと訪れた家族や親族の姿が見られ、写真やビデオで子どもたちを収めていました。

式の前には緊張していた子どもたちも、式が終わると友達とおしゃべりをしたり、ほっとした様子で顔をほころばせていました。



隊長の号令で整列する子どもたち

役場玄関前を出発する濱田理事長ら



被災地に4度目の慰問

NPO法人九州ラーメン党が出発式

東日本大震災の被災地を訪れ、ラーメンの炊き出しなどの慰問活動を行っているNPO法人九州ラーメン党(濱田龍郎理事長)は3月7日、今回で4度目となる慰問活動へ出発するため、役場玄関前で行いました。

「がんばれ! ご健闘を祈る!」と書かれた横断幕が掲げられた出発式で、住永町長は見せました。

濱田理事長は「慰問というより、以前の訪問で知り合った被災地で暮す友人に会いに行くような気持ち。たくさんの人によるこんでもらえたら」と笑顔を見せました。

昔の暮らしにふれる

広安小3年生が四賢婦人記念館見学

2月14日、広安小学校の3年生児童83人が本町上陳にある四賢婦人記念館を訪れ、四賢婦人にまつわる資料や当時の生活について学習しました。

総合学習の一環で「古い道具と昔の暮らし」について学習してきた子どもたちは、矢嶋桐子をはじめとする四賢婦人の功績や展示してある書物、古い民具

などを見学。町教委学芸員やふるさと学芸員から説明を受け、持参したノートに詳しく書き込んでいました。

館内に展示されている糸車や機械機などを間近で見た子どもたちは、「本や話では学習したことがあるけど、本物を見るのは初めて」と珍しそうに話していました。



学芸員から説明を受ける子どもたち